

## 神奈川県歯科医師会と包括協定を締結 地域社会への貢献と防衛基盤の拡充へ

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 大谷三穂1等海佐）は、6月19日（木）、本部庁舎において、公益社団法人神奈川県歯科医師会（会長 守屋義雄氏）と包括協定を締結し、今後の連携強化に向けた第一歩を踏み出した。

同歯科医師会は県内の医療・福祉向上に取り組む団体であり、神奈川県本とは「県民の生命と安全を守る」という共通の目標のもと、情報発信や人材の確保・育成、社会貢献などの多方面での協力と双方の発展を目指す。

両者の接点は令和6年に実施した講演会や護衛艦見学などを通じて生まれ、その後、協力の可能性について意見交換を重ねてきた。今回の協定締結は、こうした交流を踏まえた継続的な連携の出発点となるものである。

神奈川地方協力本部は、「今後は協定に基づき、互いの立場や強みを生かした連携の在り方について具体的に検討していく」としている。



## 陸上自衛隊高等工科学校の生徒が母校訪問 進路相談会にも参加しリアルを語る

自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 山内哲也2等陸佐）は、6月20日（金）および21日（土）、陸上自衛隊高等工科学校に在籍する地元出身の生徒5名を迎え、広報活動を実施した。

20日には、4名がそれぞれの出身中学校を訪問。教職員や受験希望の生徒に向けて、学校生活や訓練、寮での暮らしなどについて、自身の体験を交えながら紹介した。説明を受けた教職員や生徒からは、「とても分かりやすかった」「生徒の反応も良かった」といった好意的な声が寄せられた。

翌21日には、5名全員が横浜出張所での「陸上自衛隊高等工科学校相談会」に参加。来場した受験予定者や保護者に対して、受験の動機や入学後の生活について発表し、進学後のイメージを具体的に描く一助となった。

活動を終えた生徒たちは、「地元で自分たちの経験を伝えることができて良かった」「後輩たちが進路を考えるきっかけになればうれしい」と話し、やりがいと手ごたえを共有している様子だった。

横浜出張所は、「今後も在校生の協力を得ながら、中学生と保護者に向けた広報活動を通じて、高等工科学校への理解と進路支援に努めていく」としている。

